

実施内容	治療上必要となった場合の「カテコールアミン製剤の併用」について
対象者	医師がカテコールアミン製剤の併用を必要と判断した患者
承認期間	2024 年 9 月 9 日～永続的に使用
概要	【目的・方法】 重症患者の循環動態を維持するために、カテコールアミン製剤（ドパミン、ドブタミン、アドレナリン、ノルアドレナリン、イソプレナリン）を併用する場合があります。一部のカテコールアミン製剤の添付文書には、「他のカテコールアミン製剤と併用禁忌」とされていますが、その根拠は不明瞭であり、国内外の複数のガイドラインにおいても循環動態を維持するために併用は有効であることが記載されています。上記理由により、当院においては医師がカテコールアミン製剤の併用が必要と判断した患者に限りその使用を認めています。 【想定される不利益と対策】 カテコールアミン製剤を併用することで心臓への作用が増強する可能性があります。循環動態を厳格に観察し、必要時には薬剤の減量や中止等で対応します 【救済制度について】 本使用により発生した副作用については、国の「医薬品副作用被害救済制度」の対象外となります。
お問い合わせ先	東海大学医学部附属病院 医療監査部 医薬品安全管理室 代表：0463-93-1121

2024 年 9 月 9 日 作成